



平成27年4月3日

各 位

会社名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号3113 東証第二部)
問合せ先 IR・PR室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7700)

株式会社省電舎（東証M 1711）に向けた事業支援投資のお知らせ

当社は、株式会社省電舎（以下「省電舎」）の事業支援を目的とした15億円のエクイティファイナンスの引受を決定いたしましたので、その概要に関し下記の通りお知らせいたします。

記

1. 「バイオガス・プラント業界No1」に向けた事業支援投資

□ 再生可能エネルギー事業を推進する意義

我が国におけるエネルギー供給のうち、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料がその8割以上を占めており、そのほとんどを海外に依存しています。一方、近年、新興国の経済発展などを背景として、世界的にエネルギーの需要が増大しており、石油燃料の市場価格が乱高下するなど、エネルギー市場が不安定化しています。また、化石燃料の使用に伴って発生する温室効果ガスを削減することが重要な課題となっています。

このような状況の中、エネルギーを安定的かつ適切に供給するためには、資源の枯渇のおそれが少なく、環境への負荷が少ない太陽光やバイオマスといった再生可能エネルギーの導入を日本政府は推進しております。

また、再生可能エネルギーの導入及び拡大により、環境関連産業の育成や雇用の創出といった経済対策としての効果も期待されています。

クリーンエネルギー事業を推進する省電舎は、既に飲料の充填、包装、物流までを一貫して行う受託充填業界のトップ企業である、株式会社日本キャンパック向けにバイオガス発電プラントの導入実績があります。

今後、「バイオガス・プラント業界No1」を目標にバイオガス・プラント建設工事の受託獲得を積極的に展開することが、同社の成長戦略です。

□ 省電舎の優位性及び事業領域について

省電舎は、創業以来30年にわたりエネルギー関連の事業を推進しており、エネルギー事業で培ったノウハウや、バイオガス発電プラント稼働における、効果的なメタンガス発生に係る技術研究を行っており、高い技術力と経験を保有しております。また、海外企業（※1）との技術提携による独自の建設工法で建設コストが抑えられ、投資効率が高い点などは、省電舎が持つ他社にはない優位性です。

バイオガス発電プラントの潜在的市場規模は、資源の年間排出量（※2）やプラントの処理能力から試算すると約3,500基（建設費用 約15億円/1基）と大きな市場であり、大手を含め建設及び運営ノウハウを有する事業者は少なく、同社は、バイオガス発電分野でのリーディング・カンパニーのポジションを早期に確立すべく、バイオガス発電プラント建設受注件数を加速度的に増やしていくことが可能であると期待しております。

※1. ドイツのLIPP GmbH社_バイオガス発電先進国のドイツにおいて既に7,000基以上稼働

※2. データ出典（農林水産省・環境省）

2. 省電舎への投資総額15億円の内訳

転換社債型新株予約権付社債の引受け：	2 億円
新株予約権の引受け：	13 億円（権利行使による払込み予定総額）
合 計：	15 億円

3. 投資後の出資比率

投資総額の当社出資比率は46.44%であります。

4. 投資実行の予定日

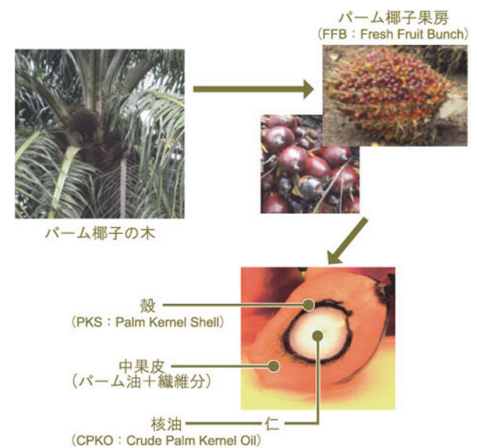
払込期日：平成27年4月20日

5. 省電舎会社概要 (平成26年9月30日現在)

- (1) 商 号：株式会社省電舎 (東証M 1711)
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 中村 俊
- (3) 所 在 地：東京都港区芝大門2丁目2番11号 泉芝大門ビル1階
- (4) 設 立：昭和61年(1986年)6月
- (5) 決 算 期：3月
- (6) 従 業 員 数：24名(連結)
- (7) 資 本 金：8億73百万円(平成26年9月30日現在)
- (8) 発行済株式総数：1,842,273株
- (9) 株 主 構 成：中村健治 16.52%、日本証券金融株式会社 5.44% 他
- (10) U R L：http://www.shodensya.com/
- (11) 事 業 内 容：再生可能エネルギー事業



バイオガス・プラント 1号案件



図：パーム椰子の果実の構造



パームヤシ殻(Palm Kernel Shell: PKS)

6. 本投資を決定した理由

Oakキャピタルは本投資によって、省電舎が推進する再生エネルギー事業を通じ、クリーンなエネルギーの安定供給を可能にすることで事業基盤の確立が図られ、業界におけるリーディング・カンパニーのポジションを獲得し、同社の企業価値向上に繋がる事を期待しております。

※ご参考



食品・飲料工場向けプラント



農業・畜産向けプラント



産廃処理事業者向けプラント

バイオガスプラントの仕組み Biogas plant system



食品系廃棄物



鶏糞・家畜糞

生ごみ・残飯・廃棄食品・排水処理汚泥・フロス・廃油など

